

笠松町地域公共交通会議 議事概要

日時	令和5年12月19日(火) 13:30~15:00
場所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	古田会長 山田(健)委員 宮部委員 木村委員 山田(忠)委員 松原委員 加藤委員 岩田委員(委任者) 山田(慎)委員 棚橋委員 中村委員 村井委員 田島委員 堀委員 (以上14名)
欠席の委員	川上委員 正村委員 城戸脇委員
議事概要	

① 町長あいさつ

現在運行しているデマンドタクシー「チョイソコカラタン」は令和6年2月末で実証実験期間を満了する。認知度も高く会員登録者も増え続けている、ぜひこのまま本格運行に移行したい。

また、公共交通利用者へのアンケート結果の報告、令和7年4月を目標として公共施設巡回町民バスのダイヤ改正の提案をしたい。

チョイソコカラタンやバスの運行について、忌憚のないご意見を賜りたい。

② 笠松町の公共交通について

- [資料1]にて、笠松町公共交通会議の開催根拠、目的を簡潔に説明。



③ 議事

【第1号議案】チョイソコカラタン本格運行への移行について

- [資料2.2-1]にて、以下の内容について説明。

[資料2]にて、運営会社の株式会社アイシンからチョイソコカラタンの現状、課題、本格運行申請時の運行概要を説明。事務局から、[資料2-1]にて笠松町としてチョイソコカラタンをなぜ公共交通として位置づけるか、経緯を説明。

【質問・意見】

○若い世代の利用はどのようなケースでの利用があるのか具体的に教えてほしい。

→柳津駅からカラフルタウンへの移動が多い

○会員登録の簡素化、登録方法の周知、若い世代へもっとPRを行ってほしい。

○学校の利用も目立つ、近隣だと聖徳大学へのPRももっと行った方がよい。

【採決】

第1号議案…出席委員の全会一致にて原案のとおり可決。

→協議が調ったものとして、事務局から[運賃協議分科会について]を配布、説明を行う。

→運賃協議会開催のための要綱改正、パブリックコメント実施、岐阜市と合同での運賃協議会開催を諮り、承認される。

③ その他

笠松町公共交通利用者アンケート集計結果報告

- [資料3]にて、事務局から11月に実施したアンケートの結果について説明。

笠松町公共施設巡回町民バスダイヤ改正案の提起

- [資料4]にて、令和7年4月を目標にダイヤ改正を検討していること。理由として、運転手不足があり、今後2024年問題も控えているなか、運転手の負担を軽減し、運転手不足に対応する必要があることを説明。ダイヤ改正について委員の意見を募った。
- [資料5]にて、岐阜運輸支局山田委員から全国的にどれほど運転手不足が起きているのか、現状といわゆる2024年問題の解説及び今後運行上行うべき対応の補足説明。

【質問・意見】

- 運転手の負担は利用者としても本意ではない、身体的、精神的負担にならない運行を目指すためには1時間1運行は難しいのではないか。
- 昼のバスに乗車している人をあまり見たことがない、朝夕の運行を中心に昼などの運行時間の中間はチョイソコカラタンなどに任せて、減便してもよいのではないか。また、そのためにもっとチョイソコカラタンの申請を町としても啓発するべきではないか。
- 他のバスでも法令改正が行われる2024年までに人材確保に奔走してきたが、運転手の確保は未だ課題である。笠松町でも運転手確保のため運行時間の中間を休憩にあて、その間はチョイソコカラタンと併用するハイブリッド型にするのがよいのではないか。
- 岐南町のコミュニティバスと比べるとスーパー等のバス停が少なく、公共施設のバス停が多いように思える、一般の利用者は少ないのではないか。